

見ず知らず



東郷 潤

初対面では、誤解が生まれやすいものです。では、一度も会ったことがない人の場合は、どうでしょう？

たとえば知らない人が引っ越してきたとか・・・

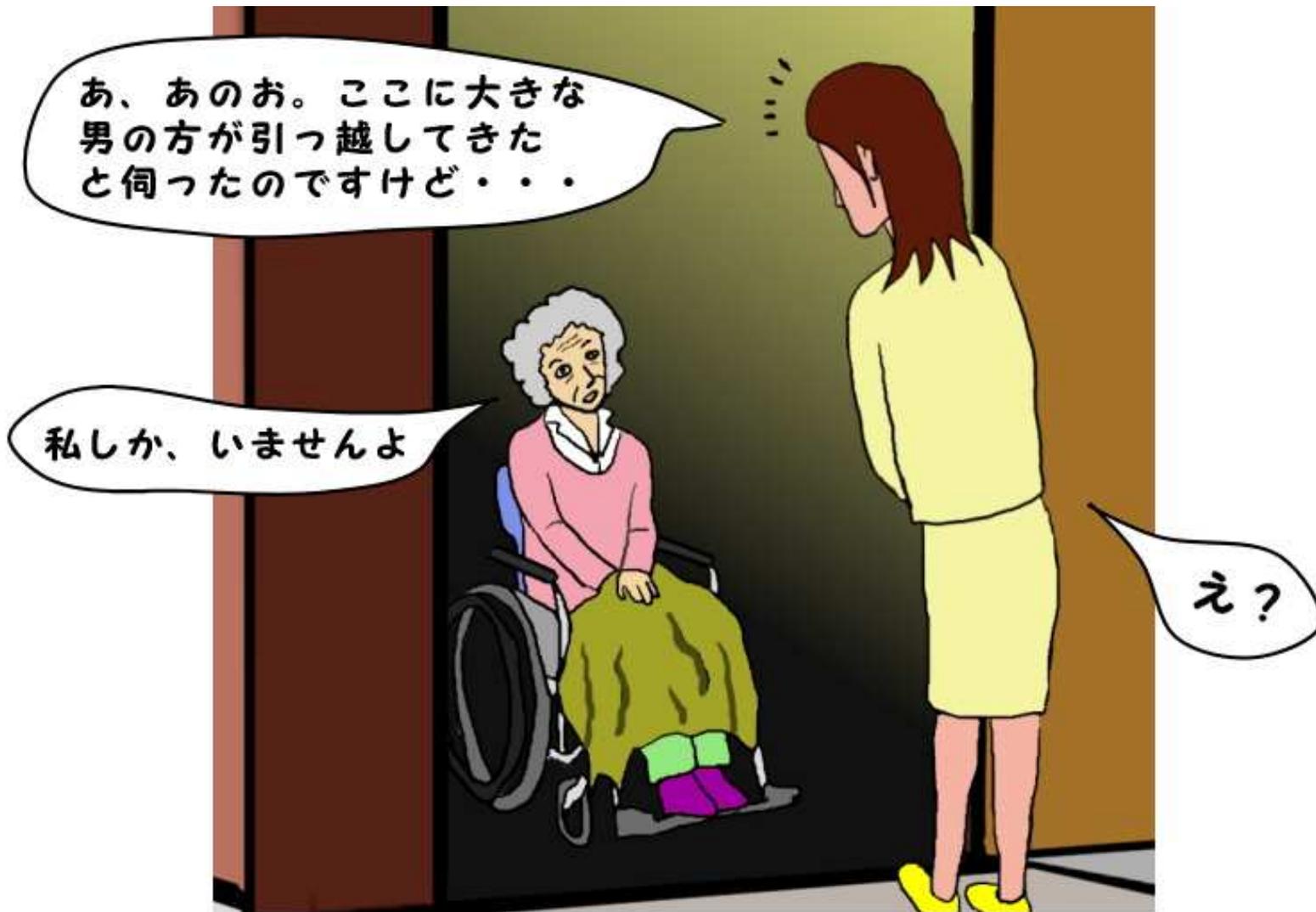


ご近所の人に聞いてみました。



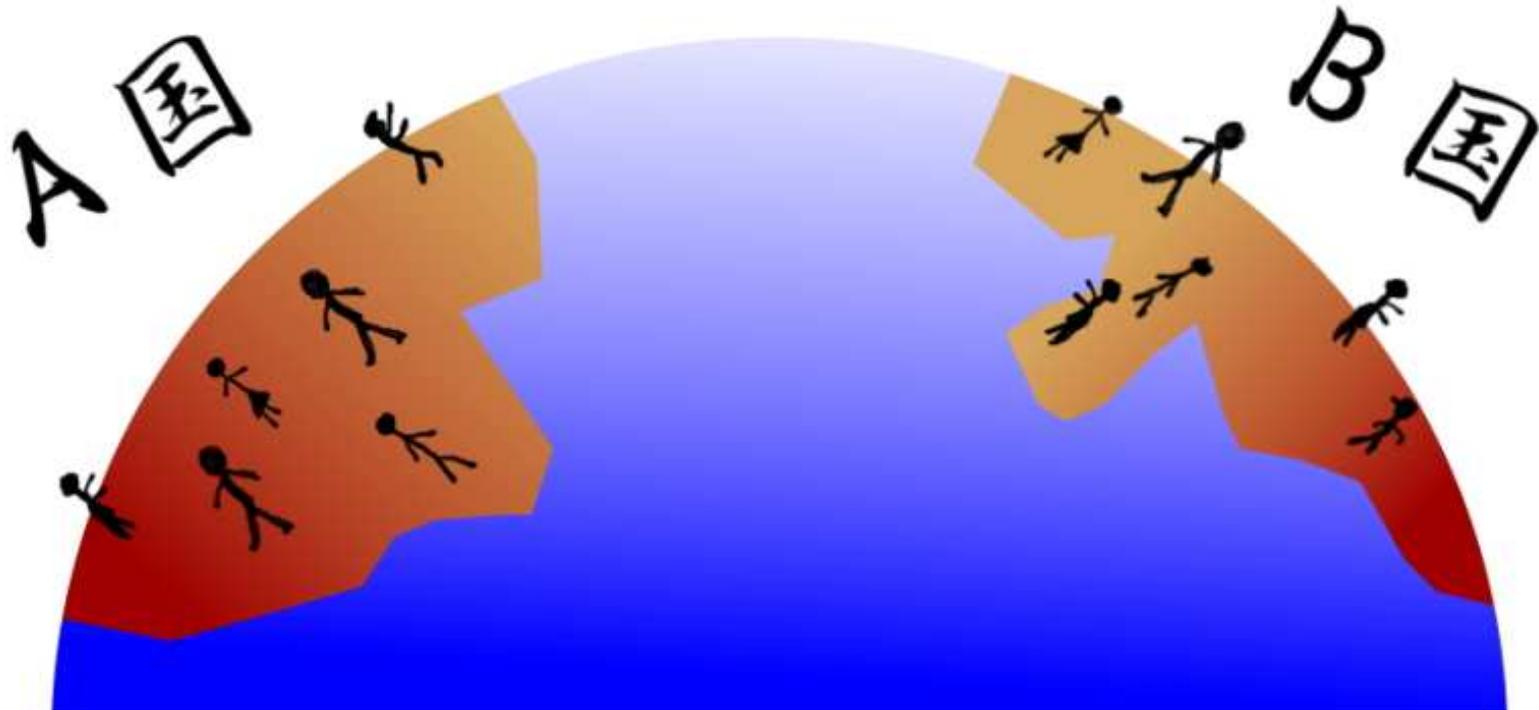
翌日、引っ越してきたおじさんのところへ、挨拶に行きました。・・・どんなに強そうな人か、興味があったのです。





一度も会ったことがなければ、**初対面以上に誤解は生まれやすい**のです。

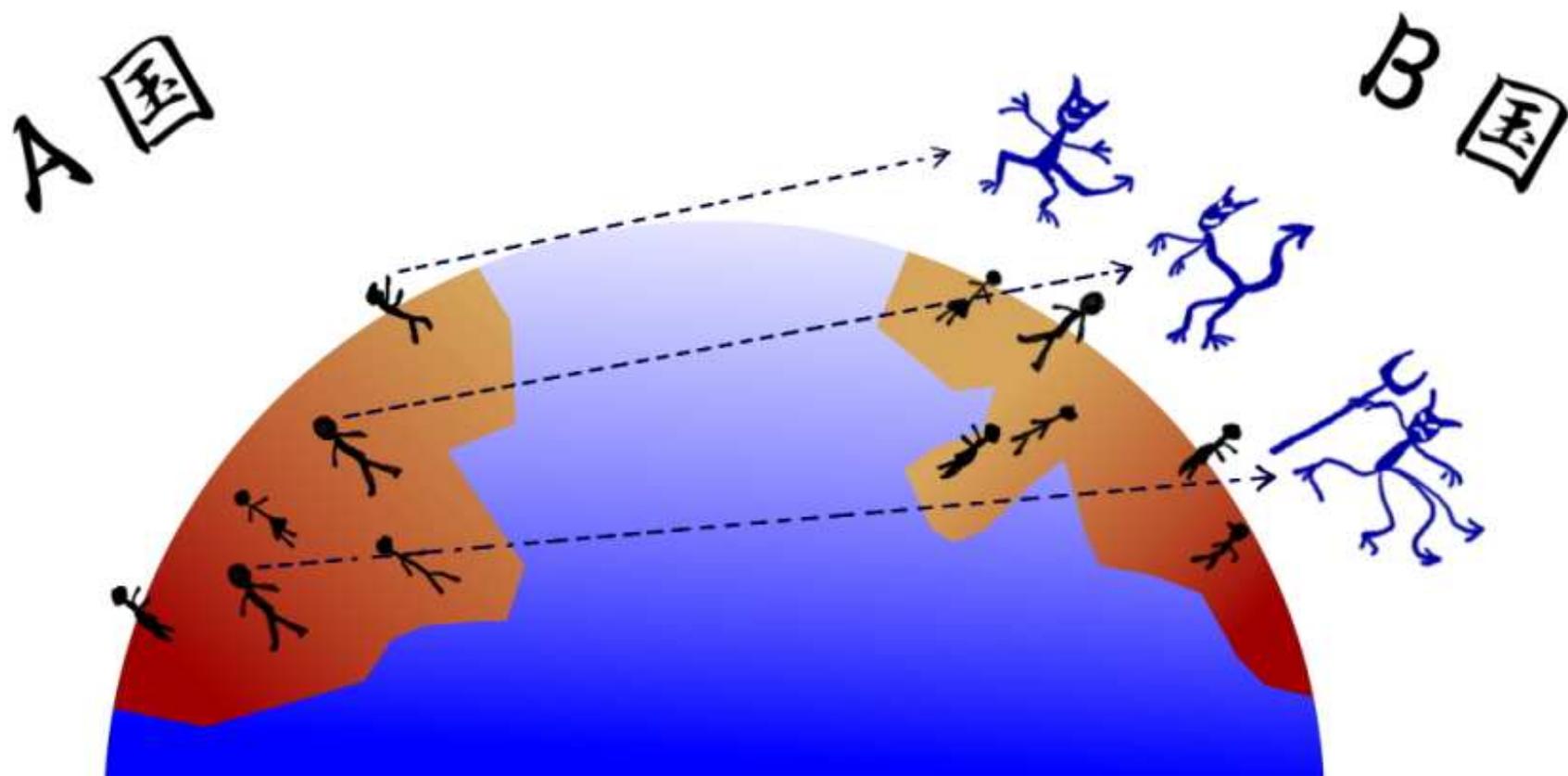
さて、ここからはもっと大きなお話です。言葉も文化も違う、2つの国があると想像してみてください。この2つの国はとても離れていて、大部分の人は、相手国の人と一度も会ったことがないとしています。

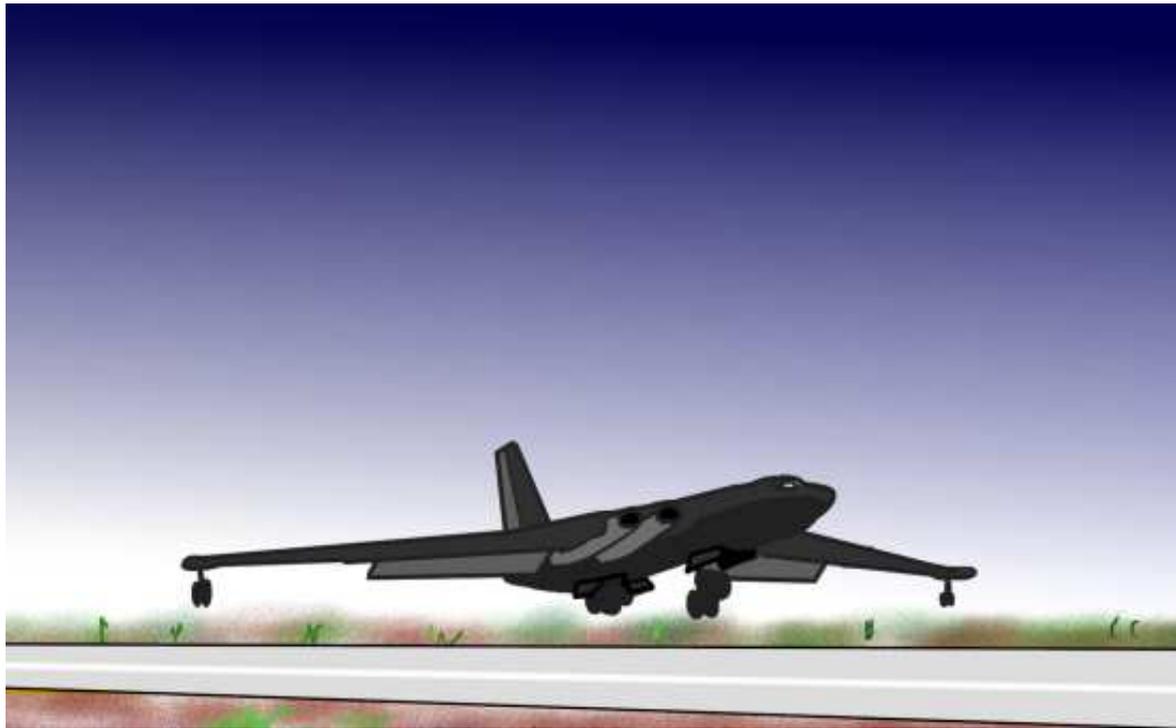


さてA国の中で、理由はどうであれ、B国に住む人々に関して次のような情報ばかりが流されたとして
す。



実際にB国に住んでいるのはごく普通の人々だったとします。でももし、ただの一度も会ったことがなければ、A国の多くの人々はそうは思わないかもしれません。









悪魔をやっつけたぞ！



見知らぬ人に対して、残虐な行為を働く人々はたくさんいます。
だからといって、**人類に絶望する必要はありません。**

あとがき —絵本「見ず知らず」

本絵本は差別をテーマとする絵本集の1作品です。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。

また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2013